

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第83号

2023 1. 1

## Topics

- 院長 新年の挨拶2023年
- 特定認定看護師の活躍
- 医事課からのお知らせ
- 患者満足度調査
- 市民公開講演開催のお知らせ

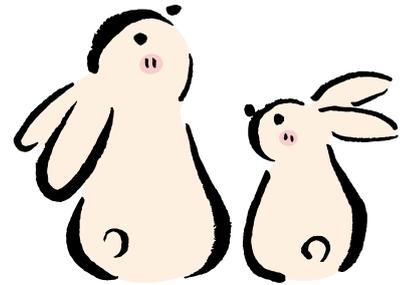


PHOTO: 大津 恵「桐生えびす講」

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



# 新年の挨拶

## 「持続可能な医療体制の 確保を目指して」

かとう ひろゆき  
院長 加藤 広行



皆様、明けましておめでとうございます。

今年の新年は、いかがお過ごしでしたか。新型コロナウイルス感染症は世界的流行から3年が経過しようとしており、海外では収束に近い状態であります。しかし本邦の11月現在では、第7波が下げ止まりあるいは微増に近い状態で第8波の入り口であろうと感じております。また一部の海外の状況を鑑みると、新型コロナとインフルエンザの同時流行を懸念する報道がございます。何れにしろ、感染対策に関しては通常の状態には未だ回復していないと言わざるを得ないでしょう。

さて、2022年を振り返りますと、新型コロナの世界的流行はもとより、ロシアのウクライナ侵攻が世界中を巻き添えにして、食糧不足やエネルギー問題などの多くの課題を浮き彫りにした年でありました。国内では止まらない円安とともに著しい物価上昇で国民の生活が厳しい状態になり、激動の年であったと痛感しております。

当院においては、一昨年同様に新型コロナ感染症の発生状況に左右され、面会制限などが二転三転しつつ感染対策に終始した一年でありました。皆様には感染対策を含めて、大変ご迷惑をお掛けして申し訳なく存じます。そのような中で皆様から頂戴した『患者満足度調査』の集計報告を参考に多くの課題に取り組んできたと考えております。皆様のご要望をもとに、昨年7月に外来患者様の呼び出し方法を「名前」から「番号制」に変更いたしました。皆様のご理解とご協力で、大きなトラブルがなく移行できましたことに心より感謝申し上げる次第であります。

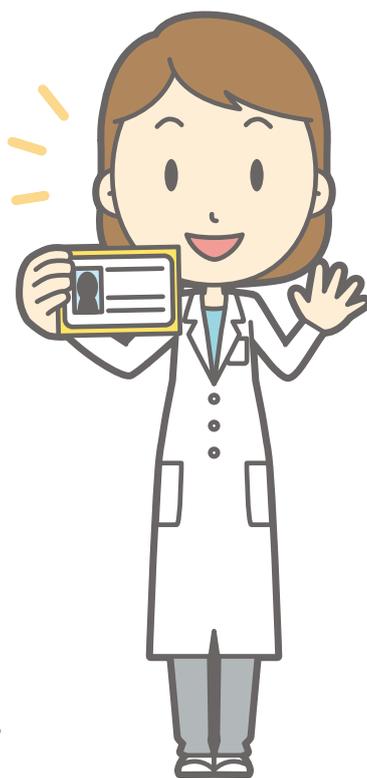
また病院の老朽化のご指摘もありましたので、桐生みどり両市長のご指示のもと、新病院建設計画を迅速に進める運びとなりました。当院は県内の主要病院では比較的古い病院となり、皆様に多大なご不便をおかけして心から申し訳なく存じます。

新病院建設に向けて早急な議論を進める中で、多くの問題がございます。現在、桐生みどり両市の人口は15万人（桐生：10万、みどり：5万）ですが、2040年代には11万人（桐生：7万、みどり：4万）まで減少してしまう推計があります。つまり17年後に人口が約3分の2に減少してしまうことになり、このような少子高齢化・人口減少の地域において、どの場所にどの規模の病院が適切か、どのような医療体制を目指すべきかなどの課題が山積みであります。そのため桐生みどり市に存在する唯一の公立病院として、少子高齢化・人口減少に対応できる病院であり、かつ持続可能な医療体制の確保を目指したいと考えております。

今年も職員一同、皆様のご期待にお応えできるよう迅速かつ丁寧な医療サービスを全力で提供して参りたいと存じます。そのためには地域の皆様方のご支援とご協力が必要不可欠でございます。

何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

# マイナンバーカードによる オンライン資格確認が スタートしました！



## オンライン資格確認について

2022年12月1日から、総合受付に設置のカードリーダーをご利用することで、マイナンバーカードを用いた健康保険証資格確認が行えるようになりました。

※公費負担医療制度をご利用中の方については、各種証書のご提示は引き続き必要となります。

## オンライン資格をご利用するためには

マイナンバーカードを取得後、健康保険証利用の申し込みが必要です。  
詳細については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

桐生厚生総合病院

## 第26回 市民公開講演

# がん最新治療 -腎がん・前立腺がん-

令和5年

開催日

3/4 土

●日 時 / 14:00~16:00

●方 法 / Web配信 (Zoom)

**参加費無料・事前申込不要**

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって変更がございます。詳細は当院ホームページをご覧ください。

## プログラム

司 会

副院長兼感染対策室長兼外科部長

もり なが のぶ ひろ  
森 永 暢 浩

講演1 「腎がんの最新治療」 泌尿器科部長

おか もと こう へい  
岡 本 亘 平

講演2 「前立腺がんの最新治療」 泌尿器科部長

うえ い たか とし  
上 井 崇 智



# 特定認定看護師の活躍

## ～皮膚・排泄ケア特定認定看護師～

おおやうち ちえ  
褥瘡対策管理者 大谷内 千恵



令和4年6月に日本看護協会特定行為研修を修了し、「特定認定看護師」を取得しました。

特定行為研修は、高齢社会に対応する医療制度を将来に渡り維持するための方策として2015年に特定看護師研修制度として発足しました。この制度は医行為38行為を特定行為と定め、手順書により医師の指示を待たずに一定の診療の補助行為ができる看護師を養成するものです。現在38行為21区分あり、私が取得した行為は以下の4行為になります。

### 【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連】

1. 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
2. 脱水症状に対する輸液による補正

### 【創傷管理関連】

3. 褥瘡又は慢性創傷における血流のない壊死組織の除去
4. 創傷に対する陰圧閉鎖療法

## 研修を受けるとこのようになります 特定行為の実施の流れ (脱水を繰り返すAさんの例)



- 患者様のメリット** 特定の行為を医師の指示を待たずにタイムリーに患者に提供することによって、患者様の症状の回復が早くなります。患者様の苦痛の軽減が早期に図れます。
- 医師のメリット** 医師の働き方改革が提唱される中、現場にタイムリーに駆けつけることの限界があります。医師の包括的指示を明確にし、信頼する特定看護師に業務をまかせることにより、医師の業務軽減と治療の遅れのジレンマも軽減されます。
- 看護師のメリット** 常に患者の傍らで症状の悪化や回復を観察する看護師は、必要な処置治療を何より望んでいます。他の処置治療で業務をしている医師の到着を待つことなく、実践力の高い特定看護師が特定の行為を実践することにより医療者としての満足度が高まります。

研修では急性期、慢性期、在宅など様々な場面で適切な判断に繋がられるよう、臨床推論や医師の思考や判断の根拠について深く学ぶことができ、私が認定看護師として23年間働いてきた中でより実践的な発見の多い研修でした。私は看護師が特定行為を学ぶ目的は「ケアとキュアを統合させた新しい看護師の役割を担うため」と考えています。活動の場は病院から在宅まで非常に広範囲に及びますが、活動を有効的にしていくには医師の理解と支援、多職種の協働、特定行為に関する成果を出していくことが不可欠です。今までと同様、関係する多職種の方と協力して常に患者さんの視点に立った治療の実践をしていきたいと思っております。

医師の依頼により手順書をもとに活動していきますが、看護師が特定行為を実施することの最大のメリットはタイムリーにまた、早期に褥瘡を治すことができることです。心身を理解した上でより深みのある看護を目指し、患者さんが安心して療養生活を送れるよう、自分のできることを最大限発揮できたらと思っております。

今後は地域貢献を見据え、様々な取り組みにもチャレンジしていけたらと考えています。まずは来年開設される当院の訪問看護ステーションでの実践の中で活動していきます。主には褥瘡のデブリードメント、陰圧閉鎖療法を実践していく予定です。地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



# 患者満足度調査結果報告

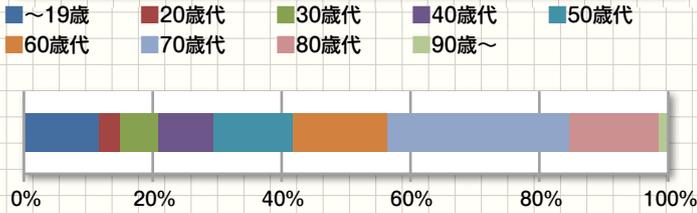


実施期間：令和4年9月12日(月)～9月29日(木)

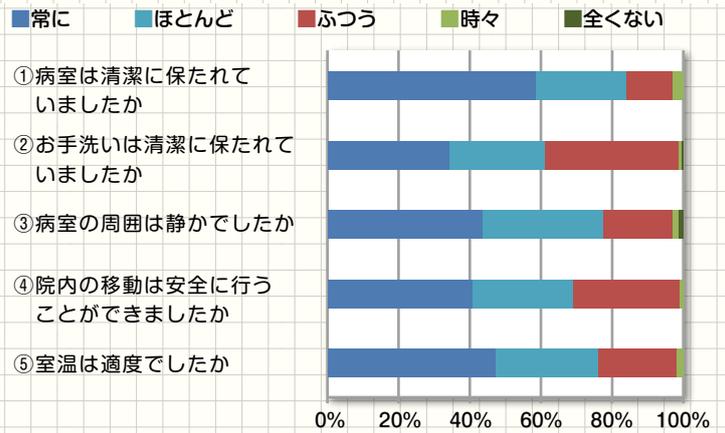
アンケート回収枚数：総計1,073枚 (外来 898枚 入院 175枚)

桐生厚生総合病院では、より良い患者サービスを皆様に提供できるよう、令和4年9月に患者満足度調査を実施しました。この調査にご協力いただいた患者さんやご家族の方、誠にありがとうございました。満足度調査結果について概要を報告いたします。 医療ホスピタリティ推進委員会

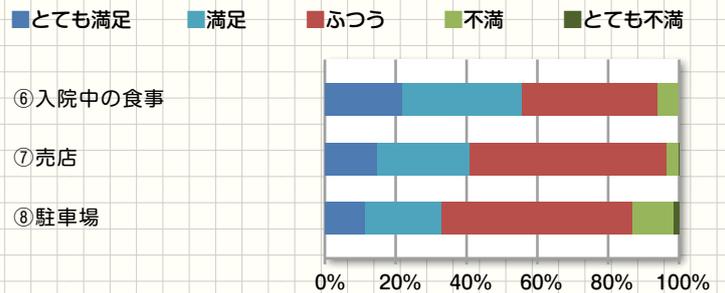
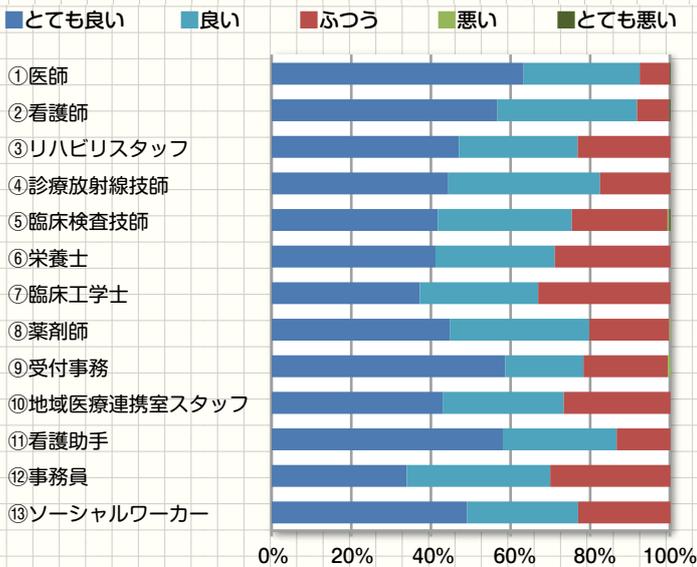
## 回答いただいた患者さんの年齢



## 施設、環境について



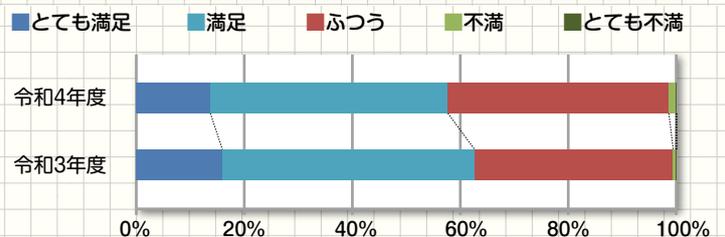
## 職員の対応・マナー・身だしなみについて



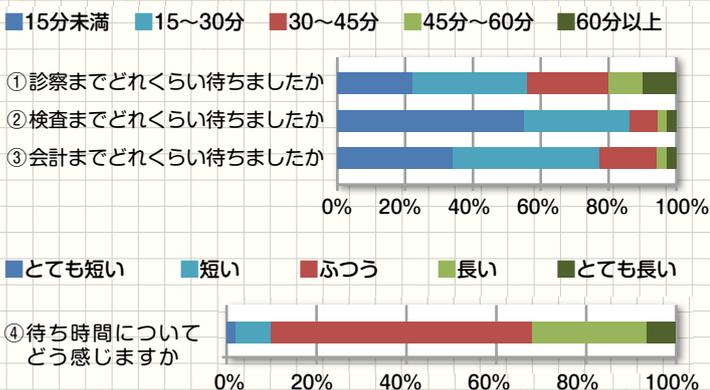
職員の対応・マナー・身だしなみについて、患者さんがどのように感じているか伺いました。全職種平均で78%が「とても良い」、「良い」という評価でした。今後もさらなる改善を目指して取り組んでいきたいと思っております。

昨年と同様、病院の老朽化及び駐車場に対するご意見が散見されました。特に老朽化に対する解決には時間を要しますが、その分運用面で創意工夫をし、さらなる療養環境の改善に努めます。

## 昨年と比べた病院の満足度



## 外来の待ち時間について



## 病院全体の印象



待ち時間について、昨年に引き続き、「短い」と感じている患者さんの割合は少ない結果でした。今後も待ち時間短縮のための工夫に取り組んでいきたいと思っております。

昨年と比べた病院の満足度の割合と病院全体の印象について、「とても良い」及び「良い」の評価が減少しました。「不満」や「悪い」の印象についてのご意見を真摯に分析し、より満足いただける病院を目指します。

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)